

令和3年度 指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	中島病院旧本館（呼称：城西浪漫館）及び津山城下町歴史館
(2) 指定管理者	所在地 津山市小田中1312-10 名称 城西まちづくり協議会 代表者 会長 高須 昌明
(3) 公の施設の所管部署	産業文化部歴史まちづくり推進室
(4) 指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日
(5) 評価対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	令和3年度実績	対R2年度	令和2年度実績	対R元年度	令和元年度実績 ※前指定管理者の実績
※来館者数、喫茶利用者数、貸室利用件数は城西浪漫館のみ。	来館者数 14,978人 喫茶利用者数 2,747人 貸室利用件数 33件	3,690人 -1,450人 19件	来館者数 11,288人 喫茶利用者数 4,197人 貸室利用件数 14件	3,580人 1,341人 3件	来館者数 7,708人 喫茶利用者数 2,856人 貸室利用件数 11件
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開館業務 ・貸室業務 ・喫茶室運営 ・自主事業（物販、イベントの開催、インフォメーション事業の実施 など） 				

3 収支の状況

(1) 収入	令和3年度実績	対R2年度	令和2年度実績	対年度	令和 年度実績
(指定管理者の収入)	総額 14,156千円	1,906千円	総額 12,250千円	千円	総額 千円
内訳	内訳		内訳		内訳
指定管理料	3,400千円	千円	3,400千円	千円	千円
施設継続・再開事業助成金	千円	-400千円	400千円		
利用料金	57千円	9千円	48千円	千円	千円
喫茶売上	1,146千円	2,202千円	1,260千円	千円	千円
自主事業	9,261千円	2,202千円	7,059千円	千円	千円
雑収入（利子ほか）	292千円	209千円	83千円	千円	千円
(2) 支出	令和3年度実績	対R2年度	令和2年度実績	対年度	令和 年度実績
(指定管理者の支出)	総額 14,130千円	1,885千円	総額 12,245千円	千円	総額 千円
内訳	内訳		内訳		内訳
人件費	4,288千円	1,913千円	2,375千円	千円	千円
消耗費	138千円	-368千円	506千円	千円	千円
光熱水費	552千円	68千円	484千円	千円	千円
通信費	116千円	18千円	98千円	千円	千円
警備委託	93千円	-8千円	101千円	千円	千円
備品費	千円	-676千円	676千円	千円	千円
消防点検費	11千円	千円	11千円	千円	千円
修繕料	38千円	15千円	23千円	千円	千円
保険料	45千円	11千円	34千円	千円	千円
事務費	307千円	75千円	232千円	千円	千円
雑費	34千円	-674千円	708千円	千円	千円
喫茶仕入	375千円	75千円	300千円	千円	千円
自主事業費	7,452千円	1,392千円	6,060千円	千円	千円
小計	13,449千円	1,841千円	11,608千円	千円	千円
津山城下町歴史館	250千円	10千円	240千円	千円	千円
消耗費	5千円	-5千円	10千円	千円	千円
光熱水費	178千円	47千円	131千円	千円	千円
通信費	71千円	10千円	61千円	千円	千円
警備委託	172千円	-14千円	186千円	千円	千円
消防点検	5千円	1千円	4千円	千円	千円
剪定委託	千円	-5千円	5千円	千円	千円
小計	681千円	44千円	637千円	千円	千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等	店頭及び城西まちづくり協議会定例会で意見聴取を行った。
(2) 指定管理者の自己評価	<p>「日本一住みたい新しい岡山」など、撮影の会場として使われることが多く、テレビなどで見た方の来館が増えている。中島病院との関係では、日常の買い物に利用して下さる方が増えるなど、自然に病院と浪漫館の共存した関係ができてきた。</p> <p>地元田町町内会との関係では、多くの方に販売コーナーやカフェの利用をしていただいているほか、配達や取り置きなど便利に使っていただき、地域の店舗として成果を感じている。</p> <p>カフェコーナーは「珈琲が美味しく、落ち着ける」とリピートして下さる方が増えている。コーヒーカンの珈琲を楽しんでいただくため「榕菴珈琲の日」を月に1回、日曜日に始めた。通常2名以上でしか味わえないコーヒーカンの珈琲を一人で飲めるようにした。榕菴珈琲の愛好者を増やすとともに、病院が休みの日曜日の来館者が増えることを期待している。</p> <p>貸し館はコロナ禍ではあったが、ポルトガル刺繍展、サックスの発表会、会議などに使っていただくことができた。規制が緩くなってきているので、自主事業の企画を増やしていきたい。</p> <p>津山城下町歴史館の活用では、地域おこし協力隊の協力で「津山城下町雛めぐり」に合わせて竹灯籠を使ってライトアップを行った。竹灯籠がとても美しく、見に来られた方も多かった。歴史館を使った企画の先駆けになったので今後も行っていきたい。</p> <p>津山商業高校の生徒がデザインした珈琲の販売を行っている。販売初日は生徒が店頭で試飲販売を行い好評だった。今後は高校生の販売実習や商品開発の体験の場としてまちの駅を活用するとともに、城西まちづくり協議会と高等学校がコラボできる企画をしていきたい。</p> <p>指定管理3年目に向け、城西浪漫館と城下町歴史館を活用した事業を増やしていきたい。どちらも津山市の財産であり美しい建物なので多くの方に来館して見ていただきたい。事業の企画に高校生など若者の感性も取り入れ、若者も足を運ぶ場所になればと思う。</p>
(3) 市の評価	<p>令和3年度も新型コロナウイルスの影響で厳しい運営状況が続き、喫茶利用者数は、休館や一部休館の影響により前年比約65%となった。</p> <p>しかし、来館者数は平成21年度に指定管理者制度を導入してから過去最高となり、前年比約132%となった。コロナ禍でも地元の高校生とコラボしたり、コーヒーカンによる珈琲を気軽に楽しめる企画を行うなど創意工夫を凝らして営業を行い、収支を黒字にした。</p> <p>また、地域のお店として広く受け入れられ、高齢者の見守りなど商業以外の住民ニーズにも対応し、コミュニティ維持や活性化に寄与している。</p> <p>津山城下町歴史館については、竹灯籠のライトアップが新聞にも取り上げられ、知名度を向上させた。今後も歴史館を活用した事業に取り組んでほしい。</p> <p>情報発信については、ほぼ毎日フェイスブックを更新し、TVや新聞、雑誌にも数多く取り上げられ、来館者の増加につなげることができた。建物に魅力を感じる利用者は多く、施設利用のニーズも高いため、誰でもスムーズに利用できるようWeb上での貸室の紹介、予約受付などに積極的に取り組んでほしい。</p>